

1か

テモテについて

I テモテ 1:1~2 私たちの救い主なる神と私たちの望みなるキリスト・イエスとの命令による、キリスト・イエスの使徒パウロから、信仰による真実のわが子テモテへ。父なる神と私たちの主なるキリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安とがありますように。

1. テモテは神を敬う者、神を賛美する者という意味です

ユニケの息子であり、ロイスの孫でした (II テモ 1:5)

ルステラでギリシヤ人の父とユダヤ人の母から生まれました (使 16:1)

2. テモテはパウロの弟子でした

1) パウロは、テモテを愛する忠実な息子と呼びました (I コリ 4:17、II テモ 2:1)

2) 幼い頃からみことばを学び、宣教のために特別に呼ばれた者でした (I テモ 1:18、4:14)

3) テサロニケに派遣されました (使 18:5)

4) パウロとシラスと一緒にベレヤに行きました (使 17:14)

パウロと一緒にコリントに行きました (I テサ 1:1)

エラストとマケドニアに送られました (使 19:22)

5) 最後までパウロに同行しました (使 20:4)

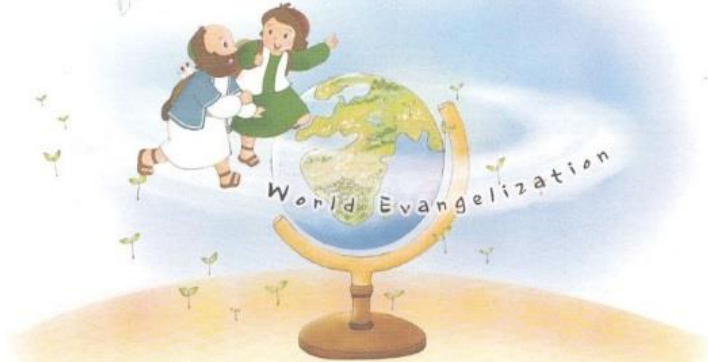
エペソ教会に派遣されました (I テモ 1:3、II テモ 1:18)

3. テモテは若い人でしたが忠実な牧師でした

1) 福音の働きをしました

2) 信徒たちをみことばによって育てました

3) 教会を復興させました



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

Blank lined area for writing the title and scripture reference.



礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- <子どもの祈りの手帳>
- 週報を読む

一週間握るみことば

Grid area for writing the weekly devotionals.

2か

エペソに派遣されたテモテ

I テモテ 1:3 私^{わたし}がマケドニア^{マケドニア}に出^{しゅっぽつ}発^{はつ}するとき、あなた^{あなた}にお願い^{ねが}したように、あなたは、エペソ^{エペソ}にずっとどどま^{どどま}っていて、ある人^{ひと}たちが違^{ちが}った教^{おし}えを説^といたり

1. エペソはローマ帝国^{ていこく}アジア州^{しゅう}の首都^{しゅと}であり、港湾都市^{こうわんとし}で、政治^{せいじ}、交通^{こうつう}、商業^{しょうぎょう}、宗教^{しゅうきょう}の中心地^{ちゅうしんち}でした

2. パウロが重要^{じゅうよう}に思^{おも}って働^{はたら}きをしたところでした

- 1) ユダヤ人の会堂^{かいどう}があつたところでした (使^{つか} 18:19)
- 2) プリスキラとアクラ夫婦^{ふうふ}が留^{とど}まったところでした (使^{つか} 18:18~19)
- 3) アポロが伝道^{でんどう}したところでした (使^{つか} 18:21~28)
- 4) パウロの働^{はたら}きの重要^{じゅうよう}な実^みが結^{むす}ばれたところでした (使^{つか} 19:1~10)
ツラノ運動^{うんどう}を通して^{とお}多くの弟子^{でし}たちが起^おこりました (使^{つか} 19:8~10)
魔術^{まじゆつ}を行^{おこな}っていたユダヤ人が悔^{あや}改^かめましたが、偶像^{ごうざい}を作^{つく}って売^うる銀細工^{ぎんさいこうにん}人^{ひと}(*)が騒^{さわ}がしくしたところでした (使^{つか} 19:13~29)
- 5) ミレトでエペソの長老^{ちやうらう}たちを招^{しょうたい}待^{たい}して特別^{とくべつ}メッセー^{つた}ジを伝^{つた}えました (使^{つか} 20:17~38)
- 6) 監獄^{かんごく}の中^{なか}でエペソ人^{ひと}への手紙^{てがみ}を記^き録^{ろく}してテキコ^{てきこ}を通して^{とお}つた (エペ 1:1)

3. エペソに混乱^{こんらん}があるときテモテを派^は遣^{けん}しました (I テモ 1:3)



* 銀細工^{ぎんさいこうにん}人^{ひと}: 金銀細工^{きんぎんさいこう}や真鍮^{しんちゆう}の器^{うつわ}などを作る技術者^{つく きじゆつしや}

せいじつ
聖日みことばのタイトル

せいじつせいしよかしょ
聖日聖書箇所

Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines for writing the title and scripture reference.



礼拝^{らいはい}の準備^{じゆんび}をして礼拝^{らいはい}をささげ
みことばを私^{わたし}の生活^{せいかつ}に適用^{てきよう}する
ことまで、すべてが礼拝^{らいはい}です

礼拝^{らいはい}の準備^{じゆんび}のチェック

- 聖書^{せいしよ}
- 献金^{けんきん}
- 筆記用具^{ひっきようぐ}
- <子どもの祈^{いの}りの手帳^{てちゆう}>
- 週報^{しゅうほう}をよむ

いっしゅうかん^{いっしゅうかん}にぎ 一週間握^{にぎ}るみことば

A grid area for writing the weekly devotionals.

4か

偽りの教えに対するメッセージ

I テモテ 4:1~5 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わず霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。それは、うそつきどもの偽善によるものです。彼らは良心が麻痺しており、結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人が感謝して受けるようにと、神が造られた物です。神が造られた物はみな良い物で、感謝して受けるとき、捨てるべき物は何一つありません。神のことばと祈りによって、聖められるからです。

1. うそをつくる人（偽教師）に対する教えを伝えました（I テモ 4:1~16）
 - 1) 後の時代になると、惑わず霊と悪霊の教えとに心を奪われると言いました（I テモ 4:1）
 - 2) 良心が麻痺しており、偽善によってうそをつくる者であると言いました（I テモ 4:2）
 - 3) 禁欲主義、霊知主義者でした（I テモ 4:3）
2. 教会の勧善懲悪（*）に対する教えを伝えました（I テモ 5:1~25）
 - 1) 話してはいけないこと（うわさ話やおせっかいは、非難を受けると言いました（I テモ 5:13）
 - 2) 訴えは、ふたりか三人の証人がなければ、受理しないと言いました（I テモ 5:19）
 - 3) だれにでも軽々しく按手をしてはいけないと言いました（I テモ 5:22）
3. 牧師の義務に対する教えを伝えました（I テモ 6:1~21）
 - 1) キリストの健全なことばと敬虔にかなう教えとに同意すると言いました（I テモ 6:3）
 - 2) 敬虔を利得の手段と考えている人たちが起こす紛争を防ぐと言いました（I テモ 6:5）
 - 3) 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だと言いました（I テモ 6:10）
 - 衣食があれば、それで満足すべきだと言いました（I テモ 6:8）



* 勧善懲悪：教会で善い行動は推奨して、悪いことは懲戒すること

せいじつ
聖日みことばのタイトル

せいじつせいしよかしよ
聖日聖書箇所

Blank writing area with horizontal lines for titles and scripture references.



れいはい じゆんび
礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

れいはい じゆんび 礼拝の準備のチェック

- せいしよ 聖書
- けんきん 献金
- ひっきようぐ 筆記用具
- <こどもの祈りの手帳>
- しゅうほう よ 週報を読む

いっしゅうかんに 一週間握るみことば

Grid writing area for weekly reflection on the word of God.

